

令和5年度 大宅中学校教育について

京都市立大宅中学校
校長 大町 静代

《 学校経営方針 》

～ 目指す学校像 ～

- ・元氣な挨拶と笑顔があふれる学校（子どもたちが、安心できる学校）
- ・教職員が「チーム大宅」を意識し、やりがいを感じる学校
- ・未来を生きていく子どもたちに必要な資質・能力の育成を実践する学校
- ・やりがいを感じる仕事・職場を意識して、「働き方改革」を進める学校
- ・開校当時からの「人、物、時を大切にし、志ある豊かな心を育む」ことは、今後も引き続き大切にしていく。

《 学校教育目標 》

「人々と協働し、自分の未来を切り拓いていける生徒の育成」

～ 今年度の重点 ～

- 1 学校教育目標を基盤とし、子どもたちの可能性を広げ成長へと導く具体的実践を進める
- 2 保護者、小学校、地域と連携し、「チーム大宅」としての自覚を持って取組む
- 3 職責を自覚し、専門性を高めるとともに、働き方改革に取り組む

○資質・能力の育成

- ・協働的に活動する力（主体性と社会性の育成）
- ・自ら課題を見つけ、話し合える力
- ・探求的に問題を解決できる力
- ・規範意識の育成（自ら律する力の育成）

○生きる力の育成

- ・カリキュラムマネジメントの視点を持ったキャリア教育の充実
- ・「道徳」を基にした道徳教育の充実
- ・いじめ防止の取組と人権教育の充実

○実践

- ・自主的・意欲的に取り組む活動の実践
- ・「つながり」を感じ、「よりよい」を大切にしたい教育の実践
- ・主体的・対話的で深い学びを目指した授業の実践
- ・GIGAスクール構想の推進（ICTを活用した教育・働き方改革の推進）

- ・ノートの有効的な活用を意識した学習指導の実践
- ・生徒の困りに対する確かな支援の実践
- ・さまざまな行事・活動を協働し、成長へとつなげる実践

～ 目指す生徒像 ～

○ 他者とのつながりを大切にし、自ら判断し行動できる生徒

～人々と協働する力、自分の未来を切り拓く力～

- 1 他者とのつながりを大切にし、いじめをしない・させない・許さない生徒
- 2 笑顔であいさつができる生徒
- 3 自ら学ぶ意欲を持ち、協働する生徒
- 4 夢や希望を持って未来へ向える生徒
- 5 多様化する未来を切り拓き、夢や希望を持って成長する生徒

～ 目指す教職員像 ～

○ 意欲とやりがいをもって取り組む教職員

- 1 専門職としての自覚と誇りを持ち、資質向上に努める教職員
- 2 生徒、保護者に寄り添い、丁寧な対応ができる教職員
- 3 教職員体制“チーム大宅”を意識して行動できる教職員

～ その他 ～

1 働き方改革推進

全教職員が協力して取り組む

- ① 時間を意識した働き方の推進・・・通常19時閉校を目途にする
- ② 業務の効率化
- ③ 業務の精選・適正化
- ④ 電話対応時刻の設定（留守電 朝7時45分解除 夕刻18時30分設定開始）

2 部活動について

- ① 週当たり2日以上 of 休養日を設ける。
(平日は少なくとも1日、土曜日及び日曜日は少なくとも1日以上を休養日とする)
※大会参加等で活動した場合は、休養日を他の曜日に振り替える
- ② 長期休業中の休養日の設定は、学期中に準じた扱いを行う
- ③ 生徒が“やりがい”を感じられるような活動とする